



令和8年1月14日

エコ・ファーストの約束

～環境先進企業として地球環境保全の取り組み～

環境大臣 石原宏高 殿

株式会社橋本店

代表取締役社長 武田文孝

株式会社橋本店は、中小建設企業における環境取組のロールモデルとして、これらの取組を通じ、持続可能な建設業の実現と地域社会との共生を目指します。今後も、他の中小企業にも展開可能な環境経営モデルの構築に向けて、継続的に挑戦を続けてまいります。

1. 気候変動への対応

- ・2050年カーボンニュートラルを目指します。
- ・2040年度までにScope1・2排出量を2013年度比50%削減します。
- ・Scope3(主要建設資材:セメント・鉄鋼・生コンクリート等)は2025年度中に算定し、2026年度内に公表します。
- ・再エネ100宣言RE Actionに基づき、『2030年度60%／2040年度100%』の再エネ導入を段階的に実現します。
- ・Scope1・2の数値表示(グラフ等)を2025年度内にWebで開示します。

2. 循環経済(サーキュラーエコノミー)の推進

- ・建設副産物の再資源化と最終処分率削減を強化し、2030年度3%以下／2040年度ゼロ目標を掲げます。
- ・電子マニフェスト・X-pointによるペーパーレス化、eco検定の全社員取得(2030年100%)、ZEB Readyの普及を推進します。
- ・原材料調達方針を2025年度内にWebで公表し、エコマーク製品・再生材の優先採用を徹底します。

3. 自然再興(ネイチャーポジティブ)

- ・自然資本の保全を経営マテリアリティとして明確化し、経営方針・教育に反映します。
- ・名取市「ハマボウフウ」保全活動について、地域団体・行政と連携し、保護区再整備・育成地管理・啓発の再始動計画を実行します(震災・コロナによる中断を経て再開)。
- ・ネイチャーポジティブ宣言等のイニシアチブに沿い、活動の可視化と発信を継続します。

株式会社橋本店は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、
その結果をホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します



株式会社 橋本店